≪難病を正しく理解していただくために≫

令和８年１０月改訂

重症筋無力症とは　どんな病気？

重症筋無力症は、末梢神経と筋肉のつなぎ目（神経筋接合部）において、筋肉側の受容体が自己抗体により破壊される自己免疫疾患です。筋肉は、神経筋接合部の神経終末から筋肉へアセチルコリンが放出されることで、脳からの指令が筋肉へ伝わり運動を開始します。重症筋無力症では筋肉の表面にあるアセチルコリンの受け皿（受容体）に対する抗体が免疫の異常によりつくられ、この抗体がアセチルコリンと受け皿の結合をブロックしてしまいます。このようにして神経筋接合部での伝達が障害されると脳の指令がうまく伝わらなくなり筋力の低下がおこります。



患者さんはどのくらいいるのですか ？

2018 年の全国疫学調査によると、男女比は 1:1.15 で女性にやや多いのが特徴です。発症年齢の中央値は、全体で 59 歳、男性では 60 歳、女性では 58 歳で男性の発症年齢がやや高いことがわかりました。日本人では、5 歳未満に一つのピークがあるとされてきましたが、全体の 2.5%であり、前回（2006 年）の調査の 7.0%に比べ、目立たなくなっています。50 歳以上に発症した患者は 66.1%で、前回（2006 年）の 41.7%より増加しています。特別な地域や職業歴と重症筋無力症発症の因果関係はありません。

重症筋無力症の主な症状

筋力低下と易疲労性（疲れやすくなること）がこの疾患の症状です。
全ての重症筋無力症患者の約半数が眼筋型として発症し、そのうちの約半数が発症 2 年以内に眼筋型から全身型に移行すると言われています。

眼筋型



筋力低下が目に関係する筋肉にのみ出現。眼球を動かす力が低下すると、複視（両眼で見たときにものがだぶって二重に見える）が生じます。眼瞼挙上筋（まぶたを上にあげる筋肉）の力が低下すると、眼瞼下垂（上まぶたが垂れて目がふさがること）をきたします。

全身型

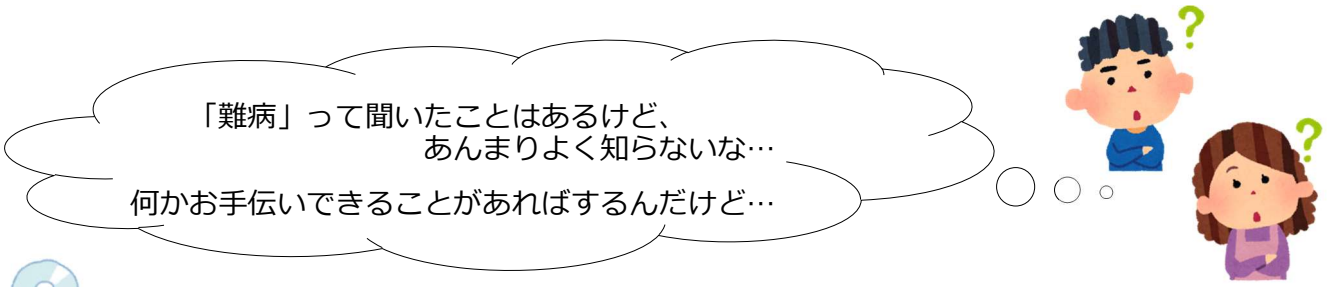


筋力低下が全身の筋におよびます。眼筋型の症状に加え、食べものを食べにくい、飲みこみにくい、しゃべりにくい、首が下がる、手足の筋力低下（腕を上げづらい、階段を上りにくい）などの症状をきたします。重症例では呼吸筋の麻痺のため呼吸困難になることもあります。

難病の患者さんのなかには、援助や配慮を必要とすることが外見からは分かりにくい方もおられますので、困っているようであれば、援助や配慮をお願いします。

裏面もご覧ください

知ってください！「難病」のこと





難病は、発病の原因が明らかになっておらず、治療方法が確立していない病気なんだ。
発症割合は低いけれど、誰もが発症する可能性があるんだよ。

「難病の患者に対する医療等に関する法律」において、

難病は**「発病の機構が明らかでなく、かつ、治療方法が確立していない希少な疾病であって、当該疾病にかかることにより、長期にわたり療養を必要とすることとなるもの」**と定義されています。



難病の患者さんの症状は様々です。長期の療養生活を必要としますが、適切な治療等を行い管理を継続することで、在宅での療養生活や就労、就学が可能な疾病もあります。

○難病のうち、国が指定する疾病に該当する方に対して、法律に基づき医療費の自己負担の一部を公費で負担する制度があります。（指定難病　医療費助成事業）

＊対象となる疾病などについては、「難病情報センター」のサイトにて確認できます。
http://www.nanbyou.or.jp/

＊詳しくは、大阪市の難病対策に関する大阪市ホームページにてご確認ください。

https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000074083.html

なお、小児の方へは、「小児慢性特定疾病　医療費助成制度」もあります。

ご存知ですか？ヘルプマーク

難病の患者さんのなかには、ヘルプマークをお持ちの方もおられます。

ヘルプマークとは、義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方が援助を得やすくなるよう作成されたマークです。ヘルプマークを身に着けた方を見かけた場合は、電車・バス内で席をゆずる、困っているようであれば声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。


（赤地に白の十字とハート）

電車・バスの中で、席をおゆずりください	駅や商業施設等で、声をかけるなどの配慮をお願いします	災害時は、安全に避難するための支援をお願いします

お問合わせ先　：　大阪市健康局保健所管理課　　電話　06－6647－0923